

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援ステーションキャンパス(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認が行えている。	毎朝打ち合わせ時間を設け、役割分担や支援内容、その日のご利用児の体調や療育実施上の留意事項等について情報を共有する事ができている。	継続して実施し、よりご利用児それぞれに合わせた支援が提供できるよう改善していきたい。
2	公式ラインを活用し、保護者とのタイムリーな情報共有が行えている。	ご利用児に関して、気づきがあった場合にこまめに保護者へ共有を行っている。	ご利用中の体調変化についてもタイムリーにご連絡を行い、安心して安全にご利用いただけるよう努める。児が楽しく活動を行っている様子も共有し、保護者と共に成長を喜び、見守っていきたい。
3	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	職種ごとのミーティング等、個別の話し合いを多く設け、情報共有を行っている。	他職種が在籍している強みを活かし、よりご利用児それぞれに適した療育を実施するために、職種ごとのミーティングを確実にを行い、その情報を支援会議内で共有する取り組みを継続して行いたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携についての支援	個別にご相談があった場合に、ご卒業生の保護者様との交流の機会を設ける等の取り組みは行ったが、全体への周知が行えていなかった。また、そのような機会が年に1度のみである為、ご予約などで参加できない方も多くおられた。	年に数回、茶話会やご家族も参加可能なイベントの機会を設け、保護者様同士の情報交換や交流の場としていきたい。
2	活動プログラムについての事前周知が不十分	活動に関して、月間の行事予定表などで予定を事前に周知する事ができていない。	新しく導入した運営支援システムの機能を活用し、月間の行事予定を確実に事前に周知できるよう取り組む。
3	集団活動の機会が少ない	個別にケアが必要な方が多く、集団活動と個別活動の割合では、個別活動の場が多くなりがちである。	他児との交流や場を共有して遊ぶ経験も積んで頂けるよう個別活動と集団活動の場をバランスよく設定する。その上で、それぞれの過ごし方に合わせて参加していただく。